

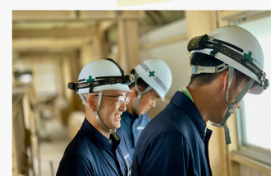
予約不要

お気軽にご参加ください♪

ホクレンくみあい飼料(株)

企業説明会

— 最前線でしか作れない、おいしさがある —



未経験者
歓迎

年間休日
120日以上

借上住宅
(月額14,000円)

完全週休二日制

リフレッシュ休暇制度

各種特別有給休暇

賞与 (計4.9カ月)

燃料手当 (12月)

資格取得費用全額負担

体系的な人材育成制度

自己申告制度

保養施設 (トマム)

日時 令和7年11月28日(金)
09:00~15:00
会場 ハローワーク釧路
2F Cブースにて

事業所 札幌本社
釧路西港工場
十勝工場
ホクレンくみあい・雪印飼料(株)

オフィシャルサイト



お問い合わせはこちらまで

管理部総務人事課 採用担当

011-222-3301

fresh-recruit@kumiai-siryo.co.jp



私たちの使命は、
高品質で安全・安心な飼料を
安定的にご提供することです。

昭和 36 年小樽に、昭和 41 年釧路に、それぞれホクレン直轄の飼料工場が建設されました。その後、国民の食生活が欧米型に変化したことに伴い、食肉、鶏卵、乳製品の需要が増加したことに応えて、昭和 42 年、小樽・釧路の飼料工場をホクレンから分離し株式会社として発足したのに続き、昭和 43 年旭川（平成 13 年閉鎖、旭川倉庫を新設）、昭和 46 年苫小牧（小樽閉鎖）にも独立のくみあい飼料株式会社が設立されました。昭和 49 年 8 月、合理化のためこれら 3 会社を合併、現在の「ホクレンくみあい飼料株式会社」に社名変更し新会社の設立となりました。

その後、昭和 51 年帯広工場、昭和 54 年北見工場、昭和 59 年釧路西港工場（旧釧路閉鎖）、平成 23 年には十勝工場（北見・帯広工場閉鎖）をそれぞれ建設し、系統飼料工場群の整備拡充を図ってまいりました。

この間、品質管理の強化ならびに農林水産省の BSE ガイドラインに対応するべく、苫小牧工場敷地内に鶏・豚用飼料工場を建設し、平成 17 年 4 月より操業を開始いたしました。これにより、牛用飼料と鶏・豚用飼料は完全に分離された工場で製造され、より安全な飼料を製造できるようになりました。

現在、食の安全に対する消費者の関心が高まる中、平成 15 年 12 月に品質管理および品質保証の国際規格である ISO9001 を取得し、平成 20 年から 21 年にかけては全工場において抗菌剤 GMP ガイドライン、平成 29 年には統合 GMP ガイドラインの認証取得を完了しました。これらの取り組みを通じて、安全・安心に関わる全てのプロセスを明確にし、求められる要求事項を確実に実行することにより、今まで以上に高品質で安全・安心な飼料を安定的にお届けしてまいります。

さらに、平成 29 年 6 月、ホクレンと全農との事業連携の強化により、当社は全農の子会社となると同時に、ホクレンの関連会社として新たなスタートを切り、平成 29 年 10 月、全農からの配合飼料事業の一部機能の移管を受け、原料仕入から配合設計、製造、品質管理、ホクレン推進支援まで一貫した事業体制を構築しました。

今後とも、JA グループの一員として日本の食糧基地を担う北海道の酪農畜産生産者および日本の消費者の皆様のご要望に応え、北海道の酪農畜産産業の発展に寄与するよう努めてまいります。



北海道の酪農・畜産とともに 歩んできました。

■ 概 要

■ 会社名

ホクレンくみあい飼料株式会社

■ 本社所在地

札幌市中央区北 4 条西 1 丁目 1 番地
北農ビル 18 階

TEL (011)222-3301 (代表)

FAX (011)222-3304

■ 配合飼料工場

釧路西港・十勝

■ 子会社

ホクレンくみあい・雪印飼料株式会社

ホクレンくみあいファーム株式会社

■ 養鶏農場

白老・恵庭・愛別・十勝清水

■ 設立

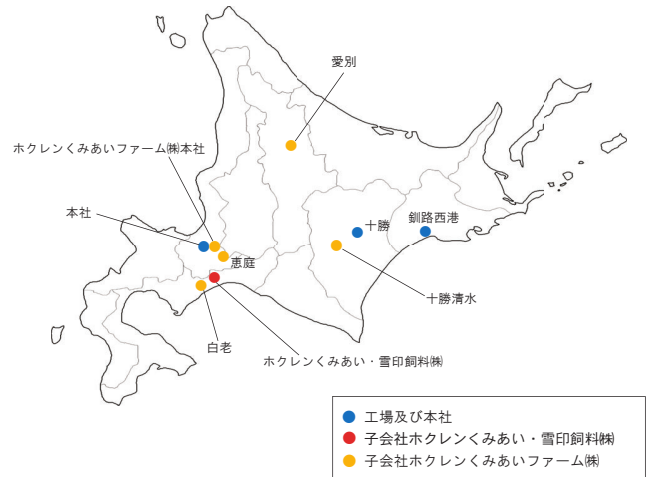
昭和 49 年 8 月 1 日 (合併)

■ 資本金

15 億 2,700 万円

■ 従業員数 (役員除く)

180 名 (令和 7 年 4 月 1 日現在)

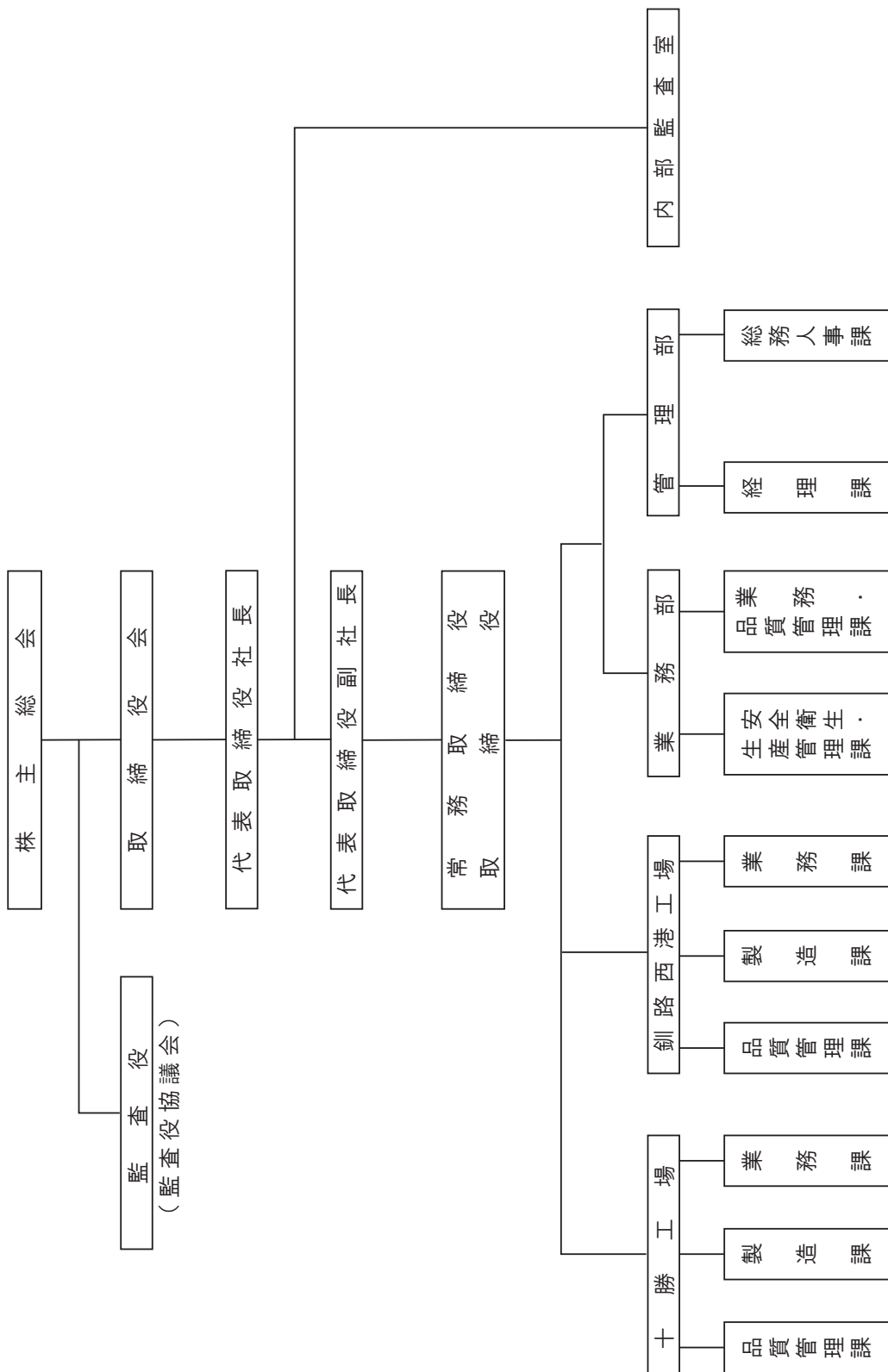


■ 沿革

昭和 42 年 7 月	小樽くみあい飼料株式会社操業
昭和 42 年 7 月	釧路くみあい飼料株式会社操業
昭和 43 年 12 月	旭川くみあい飼料株式会社操業
昭和 46 年 4 月	苫小牧くみあい飼料株式会社操業 (小樽閉鎖)
昭和 49 年 8 月	ホクレンくみあい飼料株式会社設立 (3 社合併)
昭和 51 年 4 月	帯広工場操業
昭和 54 年 10 月	北見工場操業
昭和 59 年 10 月	釧路西港工場操業 (釧路工場閉鎖)
平成 13 年 7 月	旭川倉庫新設 (旭川工場閉鎖)
平成 17 年 4 月	苫小牧工場 鶏・豚用工場操業
平成 23 年 4 月	粗飼料分析センター開設 (北見工場閉鎖)
平成 23 年 6 月	十勝工場操業
平成 23 年 8 月	帯広工場閉鎖
平成 30 年 9 月	粗飼料分析センター閉鎖
平成 31 年 4 月	子会社 ホクレンくみあい・雪印飼料株式会社 設立
令和 3 年 4 月	4 農場取得 (白老・恵庭・愛別・十勝清水)
令和 3 年 12 月	子会社 ホクレンくみあい・雪印飼料株式会社 牛用工場操業
令和 4 年 9 月	苫小牧鶏・豚用工場閉鎖
令和 4 年 10 月	子会社 ホクレンくみあい・雪印飼料株式会社 鶏・豚用工場操業
令和 6 年 10 月	子会社 ホクレンくみあいファーム株式会社 設立
令和 7 年 4 月	子会社ホクレンくみあいファーム株式会社に鶏卵 生産事業を移管



ホクレンくみあい飼料株式会社
組織図（令和7年4月1日現在）



年間 92 万トンの安全・安心な 配合飼料を製造しています。

■ 全道主要拠点で稼動する飼料工場群

私たちの工場は、全道各地の需要エリアに効率よく製品をおとどけできるように、釧路、士幌、苫小牧（子会社）の3つの主要拠点に配置されています。

ここで生産される製品は、年間 92 万トン（令和 6 年度実績）にのぼり、道内各地の酪農、畜産経営を支援しています。

工場では、原料や製品の物流、生産システムをコンピューター制御で管理し、原料の受け入れ、在庫の管理、製品の出荷など、自動化を最大限取り入れ、安全・安心・高品質の製品を効率良く製造しています。

■ 釧路西港工場

- 製造能力／月産・定時 16,000 トン（牛専用）
- 敷地面積／ 52,565 平方メートル
- 操 業／昭和 59 年 10 月



■ 十勝工場

- 製造能力／月産・定時 8,000 トン（牛専用）
- 敷地面積／ 49,135 平方メートル
- 操 業／平成 23 年 6 月

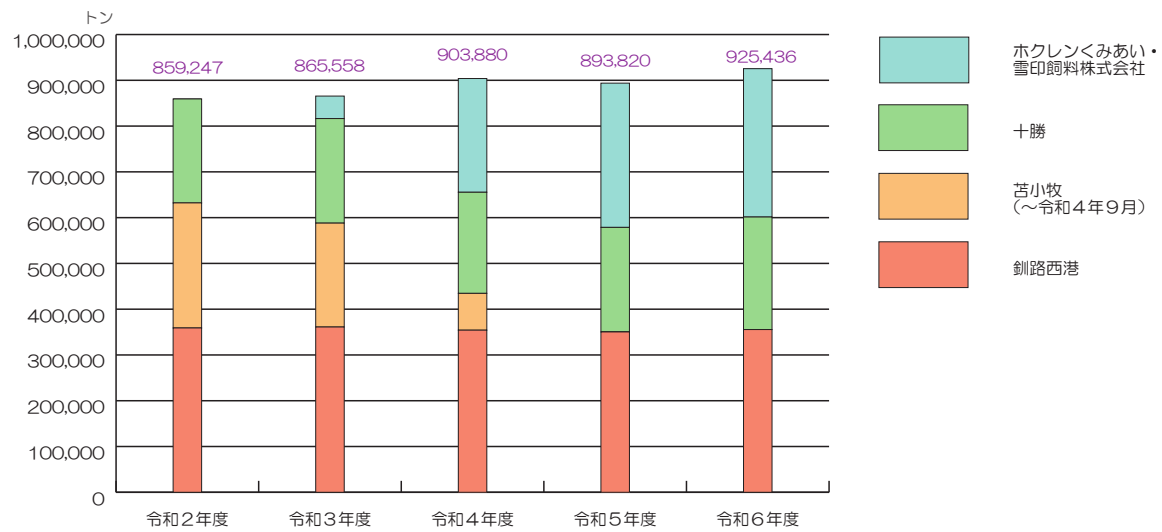


■ 子会社 ホクレンくみあい・雪印飼料株式会社

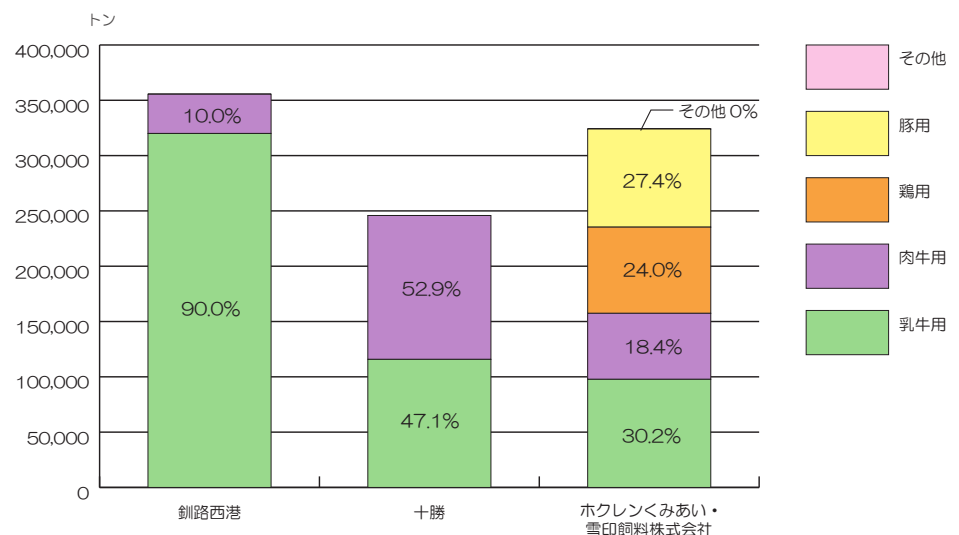
- 製造能力／月産・定時 9,000 トン（牛専用）
月産・定時 6,000 トン（鶏・豚専用）
- 敷地面積／ 59,207 平方メートル



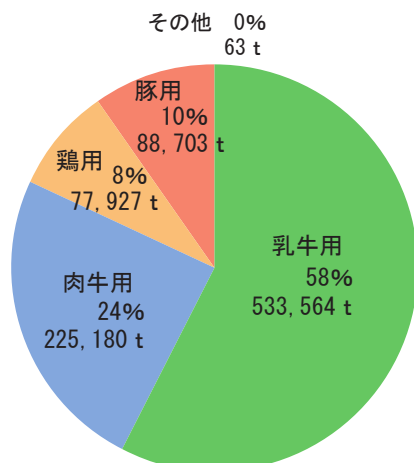
年度別・工場別 出荷数量



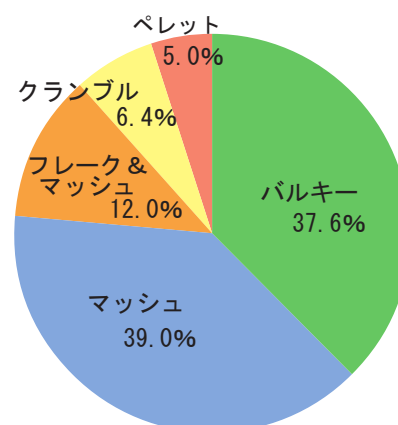
工場別 出荷数量 (令和6年4月～令和7年3月)



畜種別出荷実績 (令和6年度)



形態別出荷割合 (令和6年度)



主要な原料



とうもろこし



ふすま



大麦



ルーピン

原料の輸送システムも 飼料の安定供給に大きな役割を はたしています。

原料受入設備



原料はアメリカをはじめ世界各国の産地から大型穀物専用船により臨海穀物サイロに陸揚げ後、臨海工場へは直結のコンベアーで、内陸工場へは大型専用トレーラーで間断なく搬入されています。

内陸工場での専用車の受入は電動式トラックダンパーを採用し、CO₂削減による環境保全にも配慮されております。





牛用飼料と鶏豚用飼料の 製造工程の分離

平成 13 年の BSE（牛海綿脳症）により、農林水産省が平成 15 年に制定した「反すう動物用飼料への動物由来たん白質の混入防止に関するガイドライン（通称 BSE ガイドライン）」に基づき平成 17 年より牛用飼料（動物由来原料を使用しない原料）と鶏豚用飼料の製造工程を分離した工場体制とし、飼料製造を行っています。（子会社 ホクレンくみあい雪印飼料株式会社）

常に高品質・安全・安心な 配合飼料づくりに努めています。

高品質を目指して

高い品質、そして安全な飼料づくりをめざし、最新の設備を導入。製品の品質と安全性の向上に向け、私たちは日々努力を続けております。

ユーザーからの多様なニーズにお応えできるよう、少量多品目化および専用銘柄など、製造・出荷体制の整備にも力を注いでまいります。



微量原料計量設備

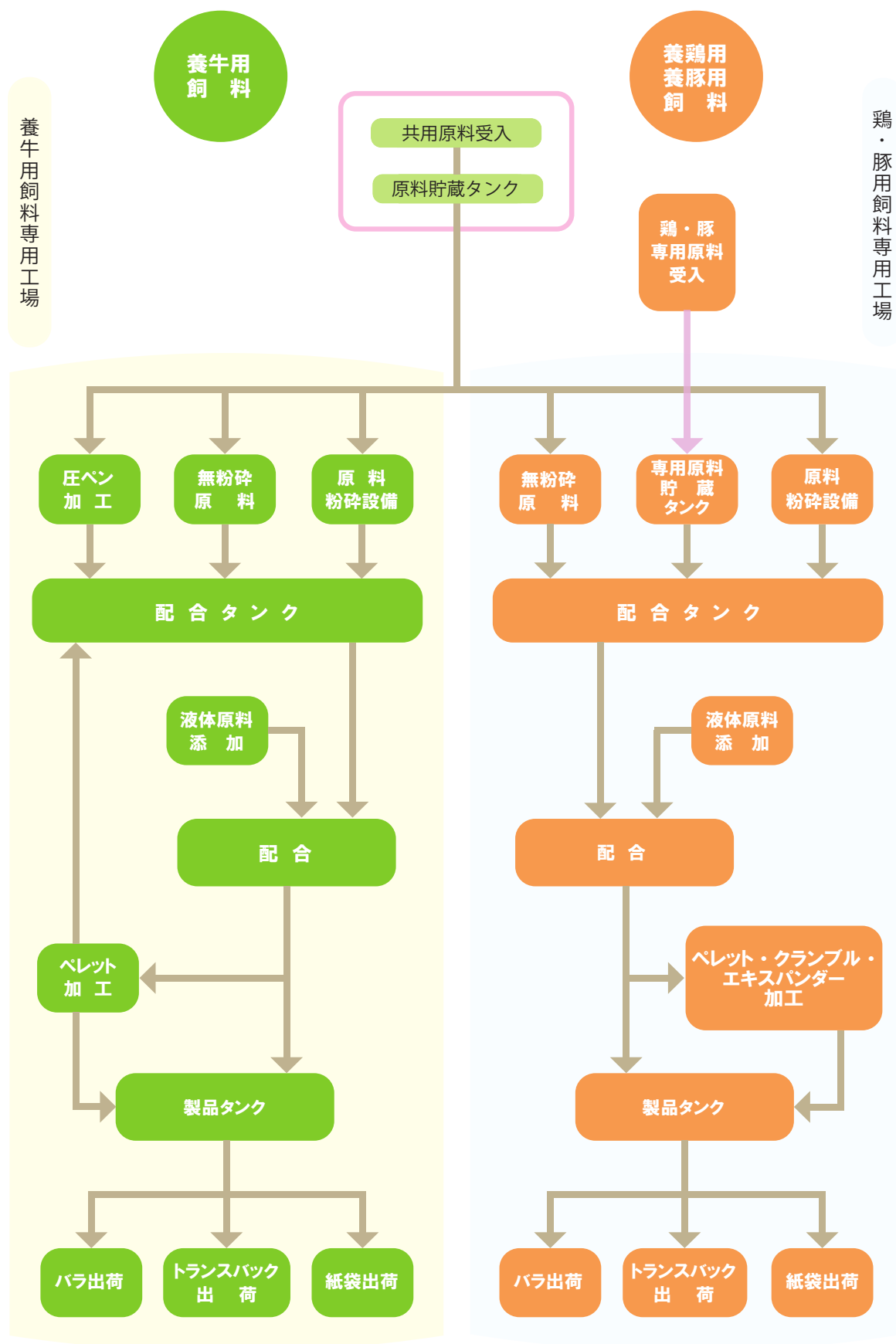


主配合混合設備（ツインバドルミキサー）



熱処理加工設備（エキスパンダー）

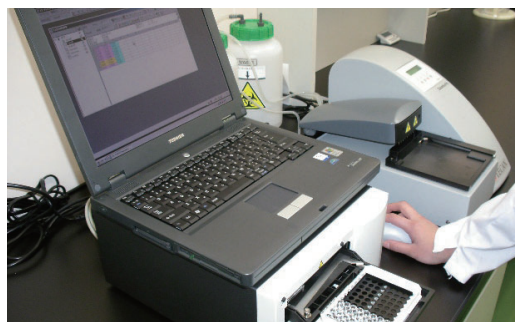
製造工程の概要



充実した品質管理体制

現代の食生活は、多彩な加工食品と多様化の一途をたどっております。「食の安全・安心」が消費者から求められ、畜産物の生産に欠かせない配合飼料にも食品と同じレベルの安全性と品質が要求されています。

これらの要求に応えるため、私たちはHACCP手法に基づいた衛生管理、ISO9001システムに基づいた品質管理体制を採用、さらに抗菌剤GMPガイドラインの認証も取得し安全性の高い高品質な配合飼料生産を実現しています。



HACCPとは

HACCPとは食品製造の一連の作業工程において、食品が健康に影響を及ぼす可能性のある危害を分析・予測（Hazard Analysis:HA）し、予測した危害を防止するために対応できる危害重要管理点（Critical Control Point:CCP）を設定し、それを監視する事によって事前に危害発生を防止する方法のことです。

分析システム

酪農経営安定向上のために、粗飼料分析を行ない、生産者の皆さまのご要望にすみやかにお応えし、大切な飼料給与設計の一翼を担っております。

徹底した品質管理と技術力を柱に、 新たな可能性に挑戦します。

安心していただける製品です。



乳牛用バルキー飼料



肉牛用バルキー飼料



養鶏用マッシュ飼料



養豚用ペレット飼料

(製品の一部を載せておりますが形態の違いを示したものです)

出荷システム

生産された良質の製品を、生産者の皆さまに安定的にお届けするための出荷システムも万全です。

出荷の主流を占めるのはバラ製品ですが、これはバルク車によって直接届けられます。

遠隔地へは主要拠点に中継基地を設け、大型トレーラーやトランスバックを使って大量に運ばれます。

小口出荷にも効率的かつ機動的に製造可能な自動コンテナ方式の設備を導入し、キメ細かな対応が図られています。

原料車両、製品車両ともに車両消毒装置により洗浄し、衛生面での安全性も万全です。

このように製造工程から出荷までの一環した合理性と安全性が生産者の皆さまから信頼をいただく大きな要因となっております。

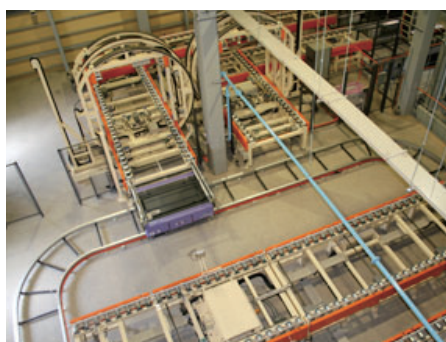
速やかで安定的にお届けできる
出荷体制が完備。



車両消毒設備



バラ製品タンク出荷設備



コンテナ物流（反転機）設備



小口出荷設備